

いすゞ真空定温恒溫器

当社製品を御購入いただきましてありがとうございます。

20-1120 いすゞ真空定温恒溫器（角型・マイコンPID制御プログラム）EPVK

型番						
型式	EPVK-27				EPVK-91	
加熱方式	スペースヒーター					
内寸法 (w × D × Hmm)	300 × 300 × 300			450 × 450 × 450		
容量	27			91		
外寸法 (w × D × Hmm)	300 × 460 × 710				650 × 610 × 860	
使用温度範囲	50℃～200℃					
使用真空範囲	0～-0.1MPa					
最高温度到達時間	約 60分～120分					
ヒーター容量	1.0Kw				2.4kw	
ポンプ排気速度						
電源 (AC)	100V-1φ				200V-1φ	
最大消費電力	1.0Kw				2.4Kw	
重量 (約)	60Kg				120kg	

20-1120 いすゞ真空定温恒溫器（角型・マイコンPID制御プログラム）EPVK

型番				
型式			EPVK-216	
加熱方式	スペースヒーター			
内寸法 (w×D×Hmm)	600×600×600			
容量	216			
外寸法 (w×D×Hmm)	800×860×1010			
使用温度範囲	50℃～200℃			
使用真空範囲	0～-0.1MPa			
最高温度到達時間	約60分～120分			
ヒーター容量	6.0kw			
ポンプ排気速度				
電源 (AC)	200V-1φ			
最大消費電力	6.0Kw			
重量 (約)	230kg			

◎共通標準仕様 EPVK

温度調節器	: マイクロコンピュータ	真空計	: ブルドン管式 0～-0.1MPa
温度制御方式	: オートチューニングPID制御	内槽材質	: SUS-304
温度検出端	: 熱電対[k]	外装材質	: 鋼板製焼付塗装仕上げ
指示制度	: ±0.5%フルスケール	安全装置	: 漏電ブレーカー・エラー監視機能
指示分解の能	: 1℃	(設定値異常・センサ断線・トライアックショート	
タイマー	: 0～99H59M		: ヒーター断線・過熱防止・上限警報)
[自動入り、自動切、自動入切運転]			

1. 設置条件

- (1) 高温多湿にならない場所で、通気を良くし、直射日光を避けて下さい。
- (2) 他の装置や壁などに密着させないで下さい。

2. 運転準備

- (1) 電源を接続し、アース線も接続して下さい。
- (2) 真空ポンプを用意し、VACUUM用ホース口に真空ホースを接続して下さい。
(ホース接続口の外径はφ14です。)
- (3) 雰囲気ガスを使用する場合は、L A E K用ホース口に使用ガスを接続して下さい。
使用するガスは、極低圧 (= 0 Kg/cm²) として下さい。
- (4) 本器を御使用になる前に漏電ブレーカーのテストボタンを押し、その動作確認をして下さい。
- (5) 本器は防爆構造ではありませんので、可燃性の高い液体や蒸気を含んだ試料の御使用は避けて下さい。

3. 運転方法

- (1) 温度調節器の取扱方法は別紙の温度調節器取扱説明書を参照して下さい。
- (2) 温度調節器内下部の過熱防止器を運転温度より10～20℃高めに設定して下さい。
- (3) 真空の引き方
 - ① L A E Kバルブが閉じている事を確認し、VACUUMバルブを開いて真空ポンプをONにし、排気して下さい。
尚、大気圧により真空の引き具合が変わりますので、完全真空に引き切れません。
 - ② 乾燥作業が終了しましたらVACUUMバルブを閉じ、L A E Kバルブを開けて槽内を大気圧に戻します。
 - ③ 逆流防止弁のない真空ポンプを御使用の場合はVACUUMバルブが確実に閉められた事を確認し、ポンプのスイッチをOFFにして下さい。
バルブが閉じられないままスイッチをOFFにしますと、ポンプ内のオイルが槽内に逆流します。
 - ④ 槽内がまだ高温の時に急に外気を入れますと、処理物が酸化される事がありますので注意して下さい。
 - ⑤ 使用後は漏電ブレーカーをOFFにし、電源プラグを抜いて下さい。

4. 注意

- (1) バッキン及びガラスの内側は常に清潔にしておいて下さい。
- (2) 溶剤等の薬品の使用は避けて下さい。
- (3) 真空定温恒溫器は真空に引きませんと温度の上昇を行う事が出来ませんのでご注意下さい。
- (4) 最初に扉を開ける際は、VACUUMバルブを開けて扉を強く引いて開けて下さい。

5. 保守と点検

- (1) 扉バッキンのキズ、ガラス面とのあたり具合を運転前に点検。
- (2) 運転時に、異音・異臭が出ていないか点検。
- (3) 漏電ブレーカの動作テスト。
- (4) 槽内の汚れは定期的に掃除する。